

No.11	事業名	スポーツバリアフリー事業 (スポーツ施設整備事業)	担当課	スポーツ課
<p>【事業概要】 市民のだれもが安心してスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、スポーツ施設の改修・整備等を計画的に行い、スポーツバリアフリー化を推進する。</p>				
<p>【目的】 スポーツ施設のバリアフリー化を推進することにより、障がい者や高齢者を含む様々な層の多くの市民が、安心してスポーツ・レクリエーション活動を行うことができる。</p>				
<p>【平成22年度実施内容】</p> <p>(1) スポーツ施設の修繕 石名坂温水プールのトイレ便器改修</p> <p>(2) バリアフリー対応備品の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義足対応コインロッカーの設置（秩父宮記念体育館・秋葉台文化体育館・八部運動公園プール・石名坂温水プール） ・ローリングバレーボール支柱（秩父宮記念体育館） ・バウンドテニスコート設置（秩父宮記念体育館・秋葉台文化体育館） ・プール用ラダーの設置（石名坂温水プール） ・車椅子の購入（秋葉台文化体育館・八部運動公園プール・石名坂温水プール） 				
<p>【効果・成果】 スポーツ施設のバリアフリー化により、市民のだれもが安心してスポーツ・レクリエーション活動ができるようになり、利用者の満足度に寄与した。</p>				
<p>【課題・問題点（内部評価）】</p> <p>(1) 今後は、老朽化したスポーツ施設のバリアフリー化をどの様に進めていくのか。 (2) 利用者数の増加に、なかなかつなげてこない。</p>				
<p>【課題解決の具体的方法】</p> <p>(1) スポーツ施設の老朽化にともない、公共スポーツ施設の中長期的な整備計画を策定する必要がある。 (2) (財)藤沢市みらい創造財団との連携をさらに図るなかで、魅力ある施設づくりや、だれもがスポーツに関心を持つような、イベント事業の開催、工夫を凝らした教室・講座を実施していくための検討を進めていき、利用者増につなげていきたい。</p>				

■外部評価員からいただいた主なご意見

1. 事業が目的を実現するための内容となっているか

- 本事業の目的は、スポーツバリアフリー化に向けた改修を図ることである。それに適した内容である。

2. 事業の効果・成果が適切なものか

- 藤沢市スポーツ振興基本計画及び同スポーツ振興審議会からの提言等に基づき、平成20年度以降の事業実績が示され、障がい者、高齢者、子どもの利用実績等が増加していることから、事業の成果が上がっていると思われる。

3. 課題・問題点の捉え方は適切か

- 老朽化や耐用年数の過ぎた設備、備品の更新が追いついていない状況にあるとのことで、このままでは、安心して利用できるスポーツ施設を提供できなくなる恐れが指摘されており、捉え方は適切である。

4. 課題解決の具体的方法は適切か

- 当面の対応として、部分的な改修とのことであり、今後は建物診断調査により計画的な整備を行うとのことであるが、危険な施設設備がないかどうか点検が必要と思われる。
- バリアフリーの取り組みは、今後も継続して行ってほしい。

5. 総合的な感想（アドバイス）

- 県の事業費をうまく利用し、活用している。
- 藤沢市独自のバリアフリー化に期待したい。バリアフリー化を推進する中で、ユニバーサルデザインの採用を行い、万国共通のものを作り、活用をお願いしたい。